

西尾市方式 PFI 事業に 関するアンケート資料

資料目次

公共施設再配置第1次プロジェクトの概要

- ・プロジェクト01（吉良地区）の主な概要 1～2
- ・プロジェクト02（一色地区）の主な概要 2～3
- ・プロジェクト03（学校施設）の主な概要 3～4
- ・プロジェクト04（資料館）及び08（包括マネジメント）の主な概要 4

公共施設再配置第1次プロジェクトの概要

この概要は最終確定ではなく、これを基に関係課との協議・市民ニーズを踏まえて施設設計や運営計画を完成していく予定です。

建設場所 吉良支所・吉良町公民館の跡地
施設概要 鉄筋コンクリート造2階建
事業者の業務 設計・建設・運営・維持管理・大規模修繕
事業計画 設計…29年度、建設…30～31年度、運営・維持管理…32～57年度、大規模修繕…32～42年度
総事業費 約51.6億円（支所棟の事業費を含む）



イメージ図

プロジェクト01 きら市民交流センター（仮称）アリーナ棟

施設の機能

- 大アリーナ：バスケットボールコート2面またはフットサルコート2面もしくはバレーボールコート2面で利用可
- 小アリーナ：バレーボールコート1面で利用可。軽スポーツだけでなく、屋外と連携した催し物など多目的に利用可
- 貸室：30㎡から150㎡まで部屋の大きさを変更可。会議から軽運動まで多様な用途に対応
- 音楽室：防音機能を備え、屋外テラスとの一体利用可
- ギャラリー：試合時は観覧席として利用できるギャラリー
- 多目的スペース：ヨガやストレッチ、ダンスなど多目的に使える多世代交流スペース。気軽に勉強できる学習コーナーも併設
- ロビー：大・小アリーナの内部の活動や、屋外テラスの外部の活動の様子が見える休憩・学習ラウンジ
- 収納庫：卓球台20台程度収納可
- その他：屋内スペースに無線による情報通信環境（Wi-Fi）を整備。屋上テラスにつながるジョギングコーススロープを設置。津波発生時は一時待避所として約600人収容可。駐車場171台



イメージ図

建設場所 吉良防災倉庫の跡地
施設概要 鉄骨造2階建（支所、防災倉庫、フィットネススタジオ）
事業者の業務 設計・建設・運営（支所を除く）・維持管理・大規模修繕
事業計画 設計…28年度、建設…29年度、運営・維持管理…30～57年度、大規模修繕…30～42年度
総事業費 事業費はアリーナ棟を含む。

プロジェクト01 きら市民交流センター（仮称）支所棟

施設の機能

- 支所機能：①ベビーコーナー・多目的トイレを設置 ②夜間・休日閉館時に事務手続きが可能な警備員室を整備 ③洪水ハザードマップを基に、建物1階レベルを1mかさ上げ ④災害時に電力を供給する自家発電機を、津波浸水深より上の高さに設置
- 軽運動も可能な貸室を整備
- 防災機能：2階に防災会議室と防災倉庫を整備
- フィットネススタジオ機能：①フィットネス機能も備えた民間のトレーニング施設を整備 ②幅広い利用者が交流できる場となるよう1階に浴室を設置 ③エアロビクスやヨガ、健康体操など、さまざまな用途で利用できる大型フィットネススタジオを整備。音響やスポーツミラーも完備 ④出入口付近に接し、外からも見通しのよい場所に物販店舗スペースを計画 ⑤津波発生時は一時待避所として開放。約400人収容可
- その他：屋内スペースに無線による情報通信環境（Wi-Fi）を整備。自然光を取り込む光庭を計画。建物入口付近に小さな広場を配置

プロジェクト01
きらスポーツドーム
(仮称)

建設場所 コミュニティ公園
施設概要 鉄骨造平屋建
事業者の業務 設計・建設・運営・維持管理・大規模修繕 ※運営・維持管理・大規模修繕は事業者の負担
事業計画 設計…31年度、建設…32年度、運営・維持管理・大規模修繕…33～57年度（独立採算事業）
総事業費 約1.6億円（設計・建設のみ）



イメージ図

施設の機能

- 屋外型スポーツドーム：テニス・フットサル兼用コート2面。ナイター設備完備
- 管理棟：観覧スペース、更衣室、ショップ、事務室
- 設計コンセプト：解体されるコミュニティ公園体育館・管理棟の跡地に、次の4つの狙いを実現した新たなスポーツ・交流・憩いの機能として、屋外型スポーツドームを設置
- ① 新たな財政支出を抑制：施設の維持管理運営費を事業者の独立採算事業で賄うことで、新たな市の財政負担を軽減
- ② 地域の住民・子どもたちにテニスやサッカーの機会を提供：テニスやサッカーのレンタルコートのほか、スクールや大会などを展開し、スポーツに親しむ機会を提供
- ③ コミュニティ公園の有人管理体制を維持：常時2人程度のスタッフが常駐し、公園内の事故などに迅速に対応
- ④ きらまつりなどの地域催事で利用可：毎年開催される「きらまつり」の拠点会場として活用可。公園内唯一の屋内施設となり、雨天を想定したイベント企画にも対応可

プロジェクト02
防災機能を備えた多機能型市営住宅



集会室兼フリースペース

イメージ図

建設場所 一色支所・前野ちびっこ広場の跡地
施設概要 鉄筋コンクリート造10階建
事業者の業務 設計・建設・維持管理・大規模修繕
事業計画 設計…29年度、建設…29～30年度、維持管理…31～57年度、大規模修繕…31～42年度
総事業費 約19億円

施設の機能

- 施設配置：建物は周辺への日影を考慮し、南東向き10階建の市営住宅を計画
- 防災機能：津波一時待避所として1000人超を収容可。浸水対策で建物1階と南側公園レベルを津波想定高さ以上の2mまでかさ上げ。1階に地域住民用の防災倉庫を設置
- 住戸面積・住宅性能：単身者用2DK(55・10m²×45戸、家族用3DK(65・55m²×45戸。全戸に対面力ウンター付きダイニングキッチン・ドアポストを設置。全室バリアフリー。1階エントランスに住戸用の集合ポスト・掲示板を設置。敷地内に入居者用ゴミステーションを設置
- 駐車場：住戸用90台、来客用5台、バイク置場4台、駐輪場90区画、フリースペース・公園・民間貸出施設専用駐車場として35台（うち身体障害者用2台）
- その他：集会室兼フリースペースを設置し、入居者のみならず地域住民も教室やイベントなどに向けて開放感のある独立棟として計画。ちびっこ広場の代替公園として、約1600m²の緑を配置した遊具のある公園を整備

公共施設再配置第1次プロジェクトの概要

この概要は最終確定ではなく、これを基に関係課との協議・市民ニーズを踏まえて施設設計や運営計画を完成していく予定です。

- 施設概要** 一色学びの館・一色町公民館・一色健康センターの3館
- 事業者の業務** 設計・改修・運営（一色支所を除く）・維持管理
- 事業計画** 設計…28～29年度、改修…29年度、運営…30～42年度、維持管理…29～42年度 ※29年度中に一色町公民館へ一色支所の機能を移転予定
- 総事業費** 約20.5億円

一色町公民館
(昭和56年築)



一色学びの館
(昭和63年築)

一色健康センター
(昭和62年築)

プロジェクト02 いっしき市民交流広場 (仮称)

運営計画・方針

既存の公共施設3館を「いっしき市民交流広場(仮称)」としてリノベーション(改修により、新たな付加価値を生み出すこと)し、包括的に運営。各施設の魅力度を向上させ、地域の方がさまざまな形で学び、交流し、憩う、新たなまちづくりの拠点を目指す。

3館を包括的に運営することで、効率的・効果的な管理を実現。運営組織は3館を統括する体制とし、人員の効率化を図り、地域のボランティアやNPO団体などにも協力してもらい、地域に根差した運営を行う。

公園部分では、多世代・多目的で利用できるイベント広場・地域交流の場として利用促進を図り、「いっしきマルシェ」「防災ワークショップ」「青空図書館」「アート展」などのさまざまな事業も計画

イメージ図



イメージ図



事業者の業務 設計・改修・運営（開放教室）・維持管理

事業計画 設計…30年度、改修…31～32年度、運営（一部）…33～42年度、維持管理…29～42年度

総事業費 約10.9億円

プロジェクト03 吉良中学校

設計コンセプト

①施設を長寿命化し、安全で良い環境で、学校と地域のコミュニティの場となるよう、素材の選定など、適切なデザインを目指す。

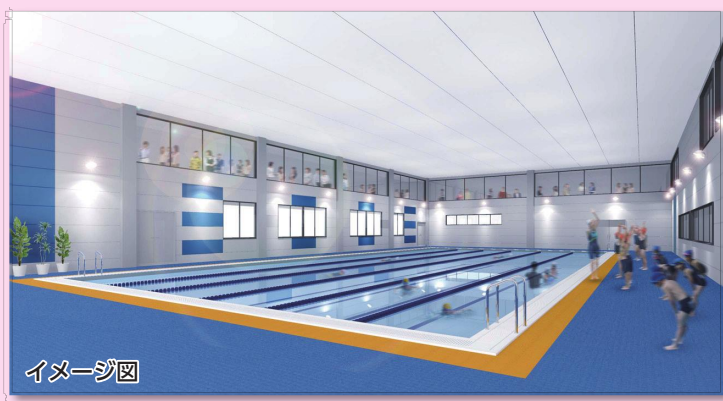
②中学生が良好な環境下で生活できるよう、内装仕上、屋内設備を更新。教室や職員室などで行われるさまざまな活動に対応できるような建具や間仕切りのあり方を提案

③普通教室の廊下側を全面建具とすることで、ワークショップ時などに、大きなスペースとして教室を使うことが可能。中学生にとって情報発信の場、学びの場となる歴史伝承館の設置や図書室をリニューアル。職員室は先生と生徒がカウンター越しにあいさつや相談ができるようにスペースを広く設ける計画

④学校活動に支障のないようにセキリティ対策を講じて、南側校舎1階を一般開放できるスペースとして改修。ステージや可動間仕切りを設け、活動内容や人数に応じて大きな空間を自由に分節可。一般開放スペースの南側にウッドデッキを設け、コミュニティの場となるよう計画

プロジェクト03
寺津温水プール
 (仮称)

整備予定地 寺津小・中学校プール跡地
施設概要 鉄骨造2階建(屋内温水プール)
事業者の業務 設計・建設・運営・維持管理・大規模修繕 ※運営・維持管理・大規模修繕は一部市の負担
事業計画 設計…29年度、建設…30年度、運営・維持管理…31～57年度、大規模修繕…31～42年
総事業費 約5.5億円(設計・建設のみ)



イメージ図

施設の機能

●市民プール機能：一色B&G海洋センタープールを引き継ぐ機能。最もニーズの高い午前中を中心にサービスを提供。レジャーではなく、健康増進という観点で捉え、アクアビクス・水泳教室などのプログラムも展開

●学校プール機能：寺津小・中学校のプール施設の一元化、プール授業のこれからの広がりが期待できる機能。午後の時間帯を中心に学校授業へ開放する。インストラクターによる西尾市独自の水泳授業の展開や、水泳部など学校部活動の受け入れも対応可。プールの耐用年数が残り少なくなっている近隣の小・中学校の授業の受け入れ、インストラクターによる指導、バスによる送迎も対応可

●ジュニアスイミングスクール機能(独立採算事業)：スイミングスクールを展開する市内民間事業者の水泳指導カリキュラムを活用し、ジュニア世代の心身の育成に貢献。夜間帯を中心に、スイミングスクールを独立採算により実施。将来的には、市民に喜ばれる多様な民間サービスを展開予定

プロジェクト03

一色町体育館

事業者の業務 設計・改修・維持管理

事業計画 設計：31年度、改修：32年度、維持管理：29～42年度

総事業費 約3.5億円

設計コンセプト 施設の長寿命化に配慮したリノベーション。多目的室の多様性を高める改修

プロジェクト04

資料館機能

対象施設 ①西尾市資料館 ②一色学びの館 ③吉良歴史民俗資料館 ④幡豆歴史民俗資料館

事業者の業務 設計・改修・運営(①②のみ)・維持管理

事業計画 ①③④設計・改修：30年度 ②設計：28～29年度、改修：29年度 など

総事業費 約1.2億円(②を除く)

内容 包括的な展示の再配置など

包括マネジメント事業

対象施設 小・中学校、保育園など160の公共施設

事業者の業務 施設の法定点検など

総事業費 約45.6億円

内容 包括的に公共施設の維持管理業務を行い、効率化を図ることでコストを低減